



伸びよう阿曾っ子



1月品格目標：礼儀

みんながんばった縄跳び集会

1月29日(水)の業間休み、阿曾小学校恒例の縄跳び集会がありました。この集会に向けてどの学級も体育の時間や休憩時間を使って練習に取り組みました。ルールは、それぞれの学級で3分間、8の字跳びで何回跳べかを目指すというものです。健康委員会の司会のもと、それぞれの学年で、自分たちの最高記録が出るよう頑張りました。

練習をしている時には、得意そうに次々に跳ぶ子どももいれば、縄に引っかかって泣いてしまう子ども、なかなかタイミングがとれずに縄を跳ぶのに時間を要する子どもなど苦手な子どももいましたが、得意な子どもも苦手な子どもも心を一つにして「ハイッ、ハイッ!」と大縄に入っていくタイミングをとる声を出して互いに励ましながら頑張りました。

苦手だから参加できないと言う子どもがおらず、得意な子どもも苦手な子どももお互いに励まし合い一生懸命になれるところは阿曾っ子の素晴らしいところだと思います。この縄跳び集会を通して、子ども達は確実に、「ねばり玉」「見つけ玉」「しんせつ玉」を磨けたものと思います。心から拍手を送りたいと思います。



健康委員会



たんぽぽ



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

非行防止に向けて

阿曾小学校では、毎年6年生を対象として総社警察署の方にお越しいただき、「非行防止教室」を開催しています。今回は「万引き」「いじめ」等の非行をしたらどんなことが予想されるかお話いただきました。万引きをすると、損害が大きくなったお店がつぶれてお店の人が生活できなくなってしまう、万引きをした子どもの親が悲しむ、親として責任をとらなければならない、周りの人に恥ずかしい思いをさせてしまう、友達からは泥棒と呼ばれ物がなくなるとすぐに疑われるようになり友人がいなくなることを学びました。いじめについては「いじめられた人が不登校になってしまったり場合によっては死にたくなったりすることもあり、心に大きな傷を負ってしまうことを学びました。そして非行をして結局、信用・信頼・時間・友達等を失い、自分がいちばんつらい思いをしてしまうことについて学びました。もしも誘われそうになったら、一呼吸して善悪の判断をしてきっぱりと断ることが大切であることも学びました。そして、日頃から思いやりや感謝の気持ちをもって、卑怯なことをせずやるべきことをやるのが、将来の夢に近づく大切なことであることを学びました。

6年生の子ども達には、阿曾地区で育まれた優しく健全な心を忘れず中学校へ進学してほしいと思います。



ファミリーでチャレンジ!!

ご参加いただける場合は、お子さんとご家族(何人でも・だれとでも OK)で取り組んでください。そして、答えを書いた連絡帳を校長室に持って来るようお子さんにお伝えください。取り組んでくれたお子さんには、ごほうびシールをお渡しします。お子さんとご家族で、楽しいひと時をお過ごしください。

問題

①総社警察署の方が教えてくれました。自分がいじめや暴力をふるいそうになった時に、どんなことをするとやめられるでしょうか。

- A 大きく深呼吸する
- B 相手がかawaii そうだと考える
- C 自分がされたら痛い・つらいということを思い出す

②節分の日には豆まきをするほかに焼いた魚を食べたりかざったりすると、「まよけ」になると言われています。その魚とは？

- A まぐろ
- B さんま
- C いわし